

しゆめ

東雲会会報 第22号

松江東高等学校東雲会事務局
2024年3月4日付発行

題字 19期卒業生 加藤 愛



目次

40周年記念特集

校長挨拶	2
会長挨拶	2
生徒会長挨拶	3
講演会出演者挨拶	3
記念式典司会者挨拶	3

40周年記念

東雲祭文化の部特集	4
東雲祭体育の部特集	6
総会・懇親会報告	8
東雲会同窓会のご案内	8



40周年記念特集

松江東高校は今年、創立40周年を迎えました。それを祝して、2023年10月21日(土)に、松江東高校創立40周年記念式典と講演会が行われました。講演会では31期生であり現在シンガーソングライターとして活動しておられる室田夏海さんが素晴らしい歌声を披露してくださいました。多くの方にお祝いいただけた素晴らしい周年事業となりました。

「40周年を迎えて」

校長挨拶

校長 山崎 誠

創立40周年記念事業にご支援ご協力いただき、東雲会の皆様には、心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

記念式典の祝辞でも触れましたが、松江東高等学校は、1983年4月、松江市・八束郡の中学校の卒業生数増加と普通科高校への進学志向が高まる中で開校。今年で40周年を迎えましたが、5～6年ほど前からは、コロナ禍も含めて激動、変革の時期でした。私はその5～6年前、本校の教頭として勤務しておりました。松江市内普通科3校の等質等量の方針が転換され、各校の魅力化・特色化がすすめられる中で通学区が撤廃。1学年5クラス体制となる中、単位制普通科高校となりました。平成から令和に変わっていく中で、コロナ禍にあっても変革への歩みを止めず走り続けられたのは、東雲会をはじめたくさんの方々のお力添えがあったからだと深く感謝しています。

大きな志を抱き、師弟同行で新しいことに挑戦する気風、気遣いを忘れない豊かな人間性は、松江東高校の矜持でもあり、ブランドデザインにも掲げる「自立への道程」です。

正面玄関に掲げられている恒松元県知事の書「初心不可忘」に込められた思いを忘れず受け継いでいくためにも、また、これまでの歴史や受け継がれた思いを今の段階の学校経営、教育活動に生かしていき、節目の50周年を良い形で迎えるためにも大事な周年事業でした。

自分の存在や成長、行いが誰かの喜びとなり、誰かを支えることに結びついたとき、人は幸せを感じることができます。生きがいを手にすることができます。そのような経験を松江東高校での3年間でできるよう、そのことが地域の発展にもつながるよう今後も様々な教育活動に積極的に取り組んでまいりますので、東雲会のみなさまには変わらぬご支援をいただければ幸いです。



東雲会会長挨拶

5期 古藤 啓一

思い起こせば、私は昭和62年に第5期生としてここ松江東高等学校に入学し、現在は松江東高等学校同窓会東雲会の会長をさせていただいております。

今では普通高校は各校が魅力化に取り組み、市内全域から制限なく新入生が入っていますが、当時の普通高校は学区制であったことから、竹矢地区に住んでいた私は特に学校のイメージを持たないまま、東高校を志望しておりました。

そんな中学3年生の冬にTVでたまたま見たのが、バスケットボールの鳥根県大会決勝に出場していた東高校の選手の皆さんでした。この時初めて、東高校はバスケットボールが強いんだと思ったことを今でも覚えています。実際に入学すると、1年生の冬にはサッカー部が全国高等学校サッカー選手権大会に出場しました。2年生の夏には同じくサッカー部がインターハイに出場。校内放送でサッカー王国静岡県代表に勝利したことが報告された時には、校内のみんなが喜びに湧きました。3年生の春には野球部が甲子園に出場。甲子園のアルプススタンドで校歌を歌うことができたことは今でも誇りに思っています。

そして、校舎正面の多くの垂れ幕からも分かります通り、現在の東高校も運動部、文化部の様々な部が活躍しております。イベント等で書道部のパフォーマンスや吹奏楽部の演奏を見られた方も多いと思います。

在校生の皆さんの活躍の場は、部活動以外にも様々な世界に広がっています。

私たちが通学していたころは、人との関わりといいますが、同級生や先輩、後輩、先生方という学校内の関わりがほとんどでしたが、現在では学校内の関わりに加え、大学生や市内の企業、地域の皆様など多くの方々の関わりの中で、授業だけでは得られない様々な経験をし、深い学びを探究するとともに、学校を飛び出して実践活動を行うことで、本人にとって貴重な体験を得るとともに地域に対しても貢献いただいています。



松江東高等学校は40周年を迎えましたが、在校生の皆さんにとって、この記念すべき年に在学していることは、記憶に残る良い経験になることと思います。今後も東高校で得た経験を活かして、社会に飛び立っていただきたいと思います。

そして、50周年に向け、さらに地域との深い関わり合いの中で成長する松江東高校の生徒を育てていくためにも、本日出席いただいた皆様をはじめ、東高校に関わっていただいている皆様には、一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

生徒会長挨拶

39期 奥村 強央

私にとって松江東高校で最も力を注いだ学校行事は、東雲祭です。今年9月初旬に開催した学園祭のテーマは、まさしく「東雲」でした。「東雲」という名に込めた第1期生の思いを、生徒会誌創刊号に紐解けば、夜明けに昇る朝日のように勢い盛んに輝いていこうとする創立当時の意気込みと新たに歴史を刻んでいこうとする決意を確かに感じることができます。今年、40周年の節目を迎え、また、ここ数年のコロナ禍による様々な規制が解けて日常生活を取り戻しつつある今こそ、改めて周囲を照らす光を取り戻し、松江東高校の歩みを力強く進めたいという願いを込めて定めたテーマ、「東雲」は東高そのものを象徴する言葉だと思っています。

生徒会長として学園祭を運営する中で、自分が東高生であることを実感する出来事がありました。それは保護者や地域の方々の受け入れを再開したことです。はたしてどれだけの方に来ていただけるか不安もありましたが、その心配をよそに実に多くの方々にご来場いただきました。これは東高の先輩方が築き上げてきた信頼によるものです。東高には3つの伸ばすべき力があります。「人と繋がって生きる力」「自己の未来を切り拓いていく力」「地域社会の今と未来に関わる力」です。PTA会報第1号には、新設された東高の第1期生に対して伝統や先輩との人間関係が得られないために、人間的な繋がりを心配する思いが綴られていました。ですが、この3つの力を、先輩方は40年の歳月を掛けて少しずつ、しかし着実に伸ばしてこられたのです。先輩方が培った力は、やがて周囲からの信頼を生み、校風となって、後輩が受け継いでいく。その1年1年を積み重ねていった結果、今、地域の方が東雲祭に行きたいと言ってくれるほどに、東高は地域と密着し、愛される学校となりました。

そして、先輩方からいただいた恩恵は信頼だけにとどまりません。今、皆さん(私たち)が取り組んでいる総合的な探究の時間は様々な職業の方、とりわけ東高を卒業した方とお話する機会になっています。卒業した先輩方や地域の方々と語り合う中で、自分の興味や志望が引き出され、だんだんと形になっていくのを感じます。東高の歴史は県内の他校と比べれば、まだ若いと言えるかも知れませんが、しかし、それだけ卒業生との間の年齢は遠くないとも言えます。1年次で行うトークフォークダンスは様々な年代の卒業生と直接、話を交わすことができます。40年の歴史をデータや資料で見るのではなく、卒業された先輩を目の前にして、直接話を聞くことで感じ取ることができるのです。私は、高校時代という将来のビジョンを描き、道を切り拓く力を身につける大切な時期に、このように恵まれた環境を与えてくださったことに感謝します。それらが創立以来、40年の歳月を掛けて築き上げられたことを誇りに思います。そして私たちがこの信頼と校風をこれからの東高生に確かに伝えていくことを誓い、生徒代表の挨拶といたします。



講演会出演者挨拶

31期 室田 夏海 (シンガーソングライター)



皆さん、こんにちは。松江東高校第31期生、シンガーソングライターの室田夏海です。

先日の東高40周年式典では、機会をいただき約40分間、広い体育館で歌を歌わせていただきました。本当にありがとうございました。約10年ぶりの母校でした。生徒の皆さんのまっすぐな眼差しを受け、1曲1曲に込めた思いを彼らなりに受け止めてくれたのではないかと感じています。あの日、MCで好きなことを見つけたらどんな形で続けていけばいいよ話をしました。この言葉、改めて自分にも刺さっています。生徒の皆さんが今、これからの未来に向かって走っていることを感じながら、私もまだまだ歌を歌い続けます。またどこかで出会えるように歌います。

自分語りになりますが、あの日の時間は生徒の皆さんに歌いながらも、かつての制服を着た自分へも歌っているようなそんな不思議な体験でした。素晴らしい機会をいただき、本当にありがとうございました。

改めて、松江東高校40周年、おめでとうございます。

生徒の皆さんと松江東高校の未来を祈っています。

記念式典司会者挨拶

32期 田村 奏 (エフエム山陰パーソナリティ)

この度、島根県立松江東高校が創立40周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。この度の記念式典では縁あって司会を務めさせていただき、変わらぬ温かな雰囲気にも包まれた校舎に戻ってこられて、素敵な時間を送ることができました。ありがとうございました。

私がパーソナリティーを務めるラジオ番組を聞いて下さっているという縁で、司会をしないかと職場に電話をくれたのは、3年時の副担・佐藤先生。恩師であり今では大事ナリスナーのリクエストを断るわけにはいきません。卒業後も変わらず気にかけてくれていたうれしさと、今の仕事が巡り巡って恩返しに繋がればと思い、引き受けさせていただきました。

また、東雲祭などで一緒にバンドを盛り上げていたSSW 室田夏海先輩がゲストということで、先輩と一緒に帰ってくると、あの青春の続きに感じるような感覚になる一方で、このような立場で帰ってくると、私自身も少しは大人になったかなと実感しています。

私が担当しているラジオ番組に、東高生が来てくれることも何度かあり、その話から自分がやりたいことに向かって全力で向き合っている様子が伝わり、生徒の思いを尊重する東高が培った気風が感じられ頼もしく思います。

東高のもたらす輝きが40年の節目を経て、より一層増すことを心よりお祈りいたします。





40周年記念 東雲祭文化の部特集

令和5年8月31日と9月1日に東雲祭文化の部が行われました。今年は東高40周年ということで、記念企画として校内スタンプラリーと、写真展示を行いました。写真展示では、過去の東高の東雲祭の様子などがわかる写真を並べて、昔と今の違いを楽しんでいました。



1年生は合唱コンクール、2年生はクラス展示をしました



東雲祭



弦楽部と本校教員のコラボ演奏

過去の東雲祭を振り返る

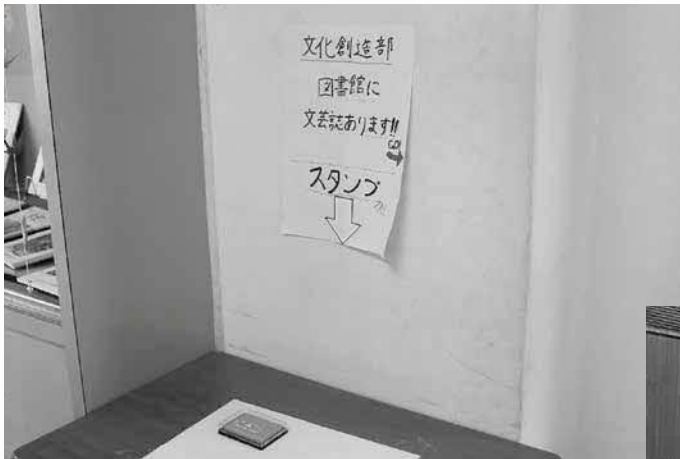
5期、14期、24期の文化の部の様子を写真で振り返ります。



5期



14期 教室展示も派手です



周年記念企画 スタンプラリー



3年EAST地域探究の発表を行いました

文化の部



ESS部による部活展示



24期 教室でバンド演奏 現在は体育館のステージで演奏しています



24期 文化の部でのフットサル大会



40周年記念 東雲祭体育の部特集

9月2日に行われた東雲祭体育の部でも、40周年記念特別企画として、昔行われていたプログラムが復活しました。鉄人レースなど色々なプログラムが候補に挙がりましたが、最終的に借り物競争が復活しました。様々なお題をめぐって、観客席を生徒が駆け回りました。



周年記念プログラム 借り物競争



東雲祭



過去の東雲祭を振り返る

5期、14期の体育の部の様子を写真で振り返ります。



5期では、グラウンド入口に門を立てていました



同じく5期の大縄跳び



3年生が中心となる応援合戦



体育の部



部活動対抗リレーでは、各部のユニフォームを着て走りました



14期 よく見ると女子がルーズソックスです



総会・懇親会報告

令和5年6月17日、サンラポーむらくもにて、総会と懇親会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、長らく懇親会を行うことができませんでしたが、4年ぶりに開催することができました。当日はミニゲームも交えて、皆さま楽しくご歓談いただきました。ありがとうございました。

東雲会同窓会のご案内

松江東高卒業生の皆様、コロナ禍により延期としておりました、総会および懇親会を下記のとおり開催いたします。ぜひご出席いただき、OB同士、交流を深めましょう。

なお、今回は、11期、12期で幹事をさせていただきます。

記

開催日時：令和6年6月15日(土)

総会(17時～) 懇親会(18時～)

開催場所：〒690-0845 島根県松江市西茶町40-1
松江ニューアーバンホテル

会費：6,000円

申し込み：右のQRコードからお申込みください。



↑お申し込み
はコチラ

締め切り：令和6年5月15日(水)

※キャンセルの場合は、一週間前までに、事務局までお知らせください。

幹事：喜多川昭博(11期) 松本裕樹(12期)

事務局連絡先：shinonomekaizimukyoku@gmail.com

40周年お世話になりました。



次は50周年、盛り上げていきましょう！

問い合わせ先

東雲会事務局：足立悠造 (24期) ☎0852-27-3700 (本校)

LINE公式アカウント

メールアドレス：✉shinonomekaizimukyoku@gmail.com

学校HP：🌐 <https://www.matsuehigashi.ed.jp/>

